

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 令和6年9月13日 No. 6 文責 関 口

第2回学校応援団会議を開催しました

9月11日(水)に、「第2回学校応援団会議」を行いました。

応援団員(学校運営協議会委員)の皆様には、5時間目の授業の様子を参観していただき、桑っ子たちの学びの姿を見ていただきました。授業参観後、会議室で「第2回学校応援団会議」を開催しました。



【6年生の授業の様子】



【5年生の授業の様子】



【4年生の授業の様子】



【3年生の授業の様子】



【2年生の授業の様子】



【1年生の授業の様子】

校長からは、夏休み明けの子供たちの様子、認知症サポート講座でお年寄りとの接し方を学んだこと、運動会に向け、楽しめる行事にしていきたいことなどの話がありました。

応援団副団長からは、桑村小をさらによくしていくために、子供を主語にして語っていきましょうという話がありました。

協議事項では、前期の学校評価の分析と考察について、教務主任の井村が説明し、いくつかの項目について、ご意見をいただきました。

【学校応援団会議で出された応援団員の意見】

＜読書活動＞

※★応援団 ○学校

★読書について、エンジョイ読書から味読となっているが、何か変化があったのか？

○具体的に新しいことをしているわけではないが、町立図書館の出張貸出で多くの本を借りている実態もあり、子供たちは本を借りて読むことが当たり前になっている。今後、冊数だけでなく、読みの質にもこだわった取り組みを考えていきたい。

★学童でも本をよく読む。最近は伝記を読みたいという子供が出てきている。積極的にこんな本を読みたいと要望する子供もいて、読書に対する意欲を感じる。



【会議の様子】

＜地域の良さを知る＞

★「函南の良さを知る」の項目が大きく伸びているのは、どんな理由なのか。

○外に出て活動する場面はコロナ前に戻っている。実際に体験したり、見学したりする活動ができていることが大きいのではないかな。

★桑原のお祭りでは、多くの子どもが参加し、楽しんでいた。学校からもマメールなどを活用し、家庭への周知に協力してもらいたい。

○地域交流については、地域の行事だけでなく、定期的なお年寄りとの交流など、積極的に地域に出たり、人を招いたりする取り組みを行っていききたい。

＜宿題のこと＞

★答えを見て宿題をやっている子供たちがけっこういる。これで学習内容の定着につながっているのだろうか？

○再テストがあると、同じ問題をやるので、自分で解くというより、もう一度問題を見直して覚えるということもある。

★解答と一緒に配付するのは、「自分で解いて、分からないところを答えを見て確認し、理解を深める」という趣旨だと思うが、その辺が子供にも保護者にも伝わっていないのではないかな。

○学校としても宿題を出すことの意味について、しっかり理解を得られるよう努めたい。

＜学校からのお知らせ＞

○学校の様子を伝える（お便りやHP）の項目について、子供たちの評価が低くなっている。

★学校が子供に何を求めているかが分からない。一緒にお便りを見るといったことはそもそもしている子供の方が少ないのではないかな。保護者も、写真などが豊富に載っていれば読むかもしれないが、そうでなければ読まない人が多い。

★この学校評価について、そもそも記名式で行うと実態を知ることにつながらないのではないかな。

○無記名だと誹謗中傷など無責任な意見も出される心配がある。あくまで、このアンケートは保護者、地域との協力関係を築くためのものなので、基本的には記名式を継続していく。ただ、項目によっては無記名でのアンケートも入れていく方向で検討したい。

【協議事項】

★7月にCSの実践発表を行った。地域もお客様ではなく、立場は教員と同じ。チーム桑村でやっていきたい。学校と一緒に活動を推進していくことで、バージョンアップを図っていきたい。

＜運動会について＞

★子供たちの人数が減って係活動が忙しく、ゆっくり楽しめない実態があるのではないかな。

○保護者によっては、昔の運動会と比べるととても質素になってしまい、さみしいといった感想をもたれる方もいる。

★コロナによって縮小を余儀なくされてきたが、今後、さらなる子供、保護者の人数減少が心配される中、今後どんな運動会をつくっていくのか、しっかり考えていく必要がある。

★将来的には丹那地区のように、地域全体で運動会を行うことも視野に入れていく。

★今年の運動会を様々な視点で見えていただき、事後に検討する会を設けていきたい。

★PTAの組織が縮小されたり、子供が少なくなったりと、行事の運営などが難しくなることから、区長との連携をさらに深めていく必要がある。

○区長全体が集まる会議が定期的に行われているほか、桑村学区は、消防の第3分団の集まりで区長として顔を合わせる機会があるとのこと。そのような機会をうまく利用し、区長と話し合う場をつくっていききたい。

応援団員の皆様、貴重な意見をいただきありがとうございました。今後の教育活動に生かしていきます。